
平成 29 年度 第 1 回彦根市環境パートナー委員会 会議概要

開催日時：平成 29 年 10 月 27 日(金) 14 時 00 分～16 時 05 分

開催場所：彦根市役所別館 2A 会議室

【会議の内容】

1. 開会

2. 議事

(1) 具体的な進め方について

昨年度は基本方向 1～6 の全 30 項目を評価していただいたが、各項目について十分な議論をするには時間が不足し、また、評価や取りまとめにかかる負担も過大であり、その結果、毎年度継続的かつ適正に進捗評価を実施できない状況を招いてしまうことも懸念されることから、平成 29 年度は、全指標の半分数の基本方向 1～3 に絞って評価を行いたい。したがって、来年度(平成 30 年度)は残りの基本方向 4～6 の評価、再来年度(平成 31 年度)はまた基本方向 1～3 の評価という繰り返しで、毎年度半分ずつ、計画終了の平成 32 年度までは 2 年周期で評価を実施したい。

(2) 平成 28 年度取組内容(基本方向 1～3)の説明

1) 基本方向 1 の説明に対する意見

- 環境学習会等については年間を通して 3,000 人もの人数を対象に実施されているが、生活環境課職員だけでやるのはなかなか大変だと思う。他の活動団体等と一緒に組んでやる方が活動の輪がどんどん広がっていくし、そういう人たちを発掘していくのも大事な仕事だと思う。
- 自然観察会は年間を通じてこれだけ(平成 28 年度は 13 回)計画されているが、正直これ以上増やすのは厳しいと思われ、このまま 900 人という目標値でよいか。また、900 人という目標値はどこから出されたか再確認をお願いしたい。
- 例えば荒神山にある子どもセンターの行事とか企画とタイアップする、また、ここ(評価報告書)に出てきていない団体が主催する自然観察会があるときに、市の後援であるとか、すすめる会と共催するなどして、そちらの団体の関係者にも広報するなどの方法で参加者増加の可能性を増やすのも良いと思う。第 2 期計画終了までの残り 3 年半で方向性を打ち立てられればと思う。
- 出前講座の参加者数は 100%まで育った(目標値を達成した)ということで、これを超える分はすでに負担だと思われるので、他の活動団体に応援団として徐々に担ってってもらい、それで参加者を増やしていく方が良いと思う。

-
- いろんな学習の場にいろんな人が出ていける体制、市職員だけで大変だったら他の活動団体の方と組んで行けるようになると、話をする人も勉強になるし、受ける側にとっても良い。
 - 啓発用パネルの貸出件数の指標は、実態に合わないのでここで変えますと言ってもいいのではないかと思う。→(事務局)環境パートナー委員会で方向性をご審議いただければ、それを環境審議会に挙げて審議していただく。
 - 広報ひこねに環境情報を提供されているが、他の市町などでは環境に関するクロスワードパズルをやっている。環境に興味ない人でもクロスワードパズルなら穴埋めしていくのは楽しいので、参考にされるとよい。

2) 基本方向 2 の説明に対する意見

- ゆとりの実感度アンケートについて、A4 1 ページくらいで数分で書いてもらえるような簡易なアンケートはエコフェスタなどのイベントで今年度中にやれたらよいと思うが、この指標で言っているのは、数百人規模を抽出して郵送してもらうような本格的なアンケートだと思われるので、来年度には予算を確保して、早い時期に行えるよう準備をお願いしたい。

3) 基本方向 3 の説明に対する意見

- 外来魚の駆除量について、近年ブラックバスは賢くなってきて釣れなくなってきていると聞いており、駆除量がずっと横ばいになっているのはそれも原因の一つかと思われる。また、数自体が減ってきていることも考えられ、駆除量 4, 100kg という目標の達成は厳しいと思われる。

(3) 今後の進め方について

第 2 回委員会の開催は 12 月になる予定なので、評価および質問記入表の提出締切日を 11 月 17 日金曜日としたい。第 2 回委員会開催日時は改めてご連絡させていただく。

3. 閉会